

締め切り
3月17日

篆刻研究 選評：佐藤煥水

次号課題 「道生」

今月の課題は論語の学而編の「君子務本 本立而道生 孝悌也者其為仁之本興」から転借した「道生」とする。

訓読は「君子は本を務む 本立ちて道生ず」孝悌なる者は其の仁の本たるかで、意味は「君子というものは物事の本質の理解に努力する。したがつて、孝（よく父母に仕える）と悌（目上の人に仕える）というものは、仁という徳目の根本といえるものであろう」といったところか。

現代の道徳観とは聊か違和感があると思われる方も多いかもしない。

参考作品



優秀作品



池田春水
甲骨文字を使用した
印、奏刀が巧み。



荒井碧水



池崎みどり
「歩月」と刻している。
余白が美しい。



藤田彩月

余白を均等にしたまじめな作、辺に妙あり。

- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。橢円・長方形等也可）。
- 印影を白の半紙1/4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。